

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		北海道列支庁センター福祉会 家庭福祉相談室				公表日	2025年 3 月 12 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%		・必要に応じて資料作成やコミュニケーションツール（絵カードや写真）を支援員が持参して支援を行っている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・配置基準を満たしているが、訪問に行けるスタッフがよい方がよい。 ・必要に応じて多職種訪問も実施。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		スタッフ全員で話し合い、決定している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		訪問の前後に保護者の希望を聞いたり説明したりしている。また、意向について話し合い、改善策を講じている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		業務実践時に生じた課題等に関しては、会議に出し、話し合い、改善するようにしている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	12%	無回答25% 第三者とはどの機関か？外部評価は行ってないと思われる。第三者委員会を設置している。	理事会など法人からの助言や指導を受ける体制ができていない。第三者による外部評価について把握できていない職員もいる為改めて周知していく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		各自の関心のある研修への参加を奨励、補助している。各自の学びを共有するようにしている。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%		訪問前に、保護者にアンケートに答えてもらい、利用児の支援ニーズについて把握するよう努めている。利用時は、児童発達支援事業も利用している為、アセスメントをしっかりとできる。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		必ず複数人で検討している。会議、日々の話し合いでスタッフ間で検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		訪問時には話し合いの時間を設け、利用児の状況について共通認識を持つよう努めている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援計画を共有している		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87%	13%	・児童発達支援事業と並行して行っている。 ・日々の保育の様子を観察する中で、アセスメントを行なっている。 ・グループ参加時に発達検査を実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		複数（多職種）訪問時には、対象児の課題を確認、分担して観察している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		同行したスタッフ以外にも、その子に関わるスタッフと子どもの状況、園の状況を共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%		園の方針、目標を主として、対象児の支援を行っている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%		観察中にメモを取り、記録している			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		年3回訪問し、目標設定、評価、見直しを行なっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	88%	12%	必要な時にスタッフが参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		保護者の希望があれば引き継ぎを行っている。入園、入学時には資料を作成したり、引継ぎの為の訪問をしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		各自の興味、関心に合わせた研修、事業に必要な研修への参加、補助金を支給している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25%	63%	未回答12% 時間が合う時には参加するようにしている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		訪問後は面談を行なって、園の様子を伝え、共通理解に繋げている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・児童発達支援事業と並行して行っている。児童発達支援事業では、親グループを実施している。療育時間に別室でカウンセラーを交えた保護者の話し合いの場を設けている。・家族参加型の行事も実施している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時や変更があった時に伝えている。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%		事前に電話での事業についての説明を行ったり、保護者を通じてパンフレットを渡したりしている。事業連絡時に、スタッフが資料を持参し、説明を行なっている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		訪問前に保護者の意向を確認している。観察に加え、園の先生との話し合いの中でも検討している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%		面談を実施し、説明、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	88%		未回答12%	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%		未回答12% 児童発達支援事業と並行して行っている。保護者グループを実施している。父母会やきょうだい交流は行っていないが、療育時間内に保護者が交流できる場を設けたり、卒業後の保護者が集う同窓会を開いている。面談時に家庭、家族の相談にも応じている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		電話やLINEを活用し、連絡がきた時にはすぐに対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		児童発達支援事業と並行して行っている。毎月通信を発行。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報保護規約を作成し、それに沿って対応している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		口頭説明では難しい保護者へは、書面を活用している。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%		園での困り感があつた時には、いつでも連絡をもらえるように伝えている。実際に相談対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%		行なっている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%		支援計画の面談を行なっている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%		対象児の特性に合わせた評価や支援方法を伝えるようにしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		訪問園のルールに沿って、共に行動している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		訪問先の対応に合わせている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		危険な場面を目にした時には、即時、園の先生に報告、対応している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		年1回以上、研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	63%	25%	無回答12% 身体拘束については、必要とならない対応をしている。	